

エコールみよた
Clip Board

フレンドリー
図書館
(32)0800

図書館フェスティバル2017
出演者募集

今年の図書館フェスティバルは、
9月24日(日)に開催します。
出演してくださる方を募集します。
ご協力いただける方は、フレンドリー図書館まで
ご連絡ください。
楽しいお祭りになるように、皆さんの
アイデアもお寄せください。

夏休み子ども映画会

日時 7月30日(日)午後2時～3時15分
場所 エコールみよた あつもりホール
上映作品

「うっかりペネロペ」
「ぼくは王さま～しゃぼんだまとにちようび」

入場無料です。みんなで見に来てね!

7月8月は開館時間を変更します。

開館時間 午前9時30分～午後6時30分
(土・日・祝は午後5時30分)
※7月31日(月)は夏季特別開館として、
午前9時30分～午後5時30分まで開館します。

7月の予定

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)
7月6日(木)・20日(木) 午前10時30分～11時

おはなし会
7月8日(土) 午前10時30分～11時

小さな朗読会
7月19日(水) 午前11時～

昔がたりのおはなし会
7月22日(土) 午前10時30分～11時

エコール
みよた
(32)2770

夏休み理科読講座開催

LET'S理科読
「空気はちからもち」

科学と読書の講座「理科読講座」を開催し
ます。テーマは「空気」です。

普段吸ったり吐いたりしている空気につ
いて、本を読んでそして実験をして楽しく
学んでみませんか。

日 時
8月1日(火)
午前の部:午前10時～正午
午後の部:午後1時30分～
午後3時30分
午前・午後ともに15分前より会場と
なります。

場 所
エコールみよた あつもりホール

講 師
NPO法人ガリレオ工房

対 象 者
小・中学生(子どもだけの参加も可)

定 員
午前・午後 各回100名
※先着順、定員になり次第締め切り

申込方法
エコールみよた窓口または電話でお
申し込みください。
(兄弟、姉妹で参加の場合は1名ず
つお申し込みください。)
※火曜日～土曜日
午前9時～午後5時

申し込み・問い合わせ先
教育委員会生涯学習係 (32)2770

～青少年は地域社会からはぐくむ～

伸びよう 伸ばそう 青少年

未来を担う青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、地域において心豊かにたくましく成長していくことは、みんなの願いです。

現在、少子高齢化が急速に進み、子どもたちを取り巻く家庭環境、教育環境、社会環境も大きく変わっています。そんな中で、青少年による凶悪事件が後を絶たず、反面児童虐待事件や児童ポルノ事件等による被害が増加するなど、非行および被害の両面において予断を許さない状況となっています。

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」および「青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間」です。この機会に親として、大人としてこうした問題について考えていただき、次代を担う青少年の健全育成と犯罪被害の防止のため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

インターネットに潜む有害情報から子どもを守りましょう

近年の通信機器の普及により、どこでも簡単にインターネットに接続できる環境となっています。インターネットには、出会い系サイトやわいせつ画像の情報を掲載しているサイトなど、青少年が有害情報に接する危険があふれています。そこから犯罪に巻き込まれるケースも少なくありません。

子どもに携帯電話等を持たせる場合は、その必要性をよく判断し、持たせる場合には子どもと話し合い、家庭でのルールづくりや適切なフィルタリング設定を行ってください。

問い合わせ先 教育委員会生涯学習係 (32)2770

はじめまして

絵本の世界

『大きな森のおばあちゃん』

かんばつでなくなつた食べ物求めて緑の森にいた子ども達のエレナたちの群。みんなより先に食事を取つたおばあちゃんたちは、「お昼ね」をしにいきました。そしてまた50年後、森は…。象の神秘を表した童話。



『大きな森のおばあちゃん』
天外 伺朗／著
柴崎 りり子／絵
明窓出版

一般書

今月のおすすめ

『魂の退社』

50歳、夫なし、子なし、そして無職：しかし、私は今、希望でいっぱいである。大学卒業以来、28年間勤めていた朝日新聞社を辞めた著者が、会社を辞めてみて身の回りに起きたこと、「会社で働くこと」について語る。



『魂の退社』
稲垣 えみ子／著
東洋経済新報社

新書

新書本

『台所に敗戦はなかった』

無謀な戦争に突入しようが、敗戦で甚大な被害を受けようが、母親たちは台所に立った。すぎ焼き、ねぎま、人工葡萄酒、代用コーヒー……。戦前・戦中・戦後の台所事情を雑誌に探ってレシピドおりに再現し、レポートする。



『台所に敗戦はなかった』
魚柄 仁之助／著
青弓社

『大切なことは、』

みな子供たちから学んだ
七田式創始者・七田眞は、息子の行動に対し、どんな対応・アドバイスをしてきたのか。息子である著者が、幼いときの話から成人するころの話までを取り上げ、父の言葉の真意と、父が子供たちから何を学んだのかを振り返る。



『大切なことは、みな子供たちから学んだ』
七田 厚／著
真人堂

BOOK
コーナー

ほんとに、いい出会い。